

部局名	安全環境部			所属名	清掃センター			所属長名	矢口 健二			電 話	483－4521		
-----	-------	--	--	-----	--------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3969		事務事業名称	最終処分場緊急対策事業								短縮コード	経常		臨時	3969
予算区分	会計	01	一般会計		款	04	衛生費		項	02	清掃費		目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
平成10年度頃から電気伝導度が高い値を示し、遮水シートの一部に破損が確認されたので補修を行い対応してきたが、抜本的な対応を行うことにより周辺環境への影響を防止する為																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
平成17年度完了を目標としているが、これが完了しても処分場の再開が出来ないので、早急に恒久的な対策を行う必要がある。							大項目（節）	03	環境・衛生							
							中 項 目		02	ごみ処理						
							小項目（施策）		02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進						
							細 項 目		02	焼却施設等の整備						
					実施計画の計画事業		3304	最終処分場改修事業（緊急対策）								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成14年4月 ～ 平成18年3月			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	最終処分場遮水施設設置工事						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： ・最終処分場遮水施設設置工事 ・最終処分場遮水施設設置工事監理委託						
	※平成18年度に計画していること： 最終処分場遮水施設設置工事，最終処分場遮水施設設置工事監理委託，最終処分場周辺にある観測井の水質分析						
意図 （何を狙っているのか）	・遮水施設を設置することで、浸出水による地下水汚染の防止						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	・遮水施設を設置することで、浸出水による地下水汚染の防止が可能となる。						
区 分			単位	16年度	17年度		18年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	遮水施設設置工事	件	1	1	1	
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	工事の進捗状況	%	53	100	100	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	工事の完成度	%	53	100	100	
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3969	事務事業名称	最終処分場緊急対策事業			所属名	清掃センター
			単位	1 6 年度	1 7 年度		1 8 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0		
		県	千円	0	0	0		
		地方債	千円	760,300	752,800	725,900		
		一般財源	千円	169,058	300,221	300,032		
		その他	千円	0	0	0		
	主な事業費の内訳			委託料 330,405千円 工事請負費 597,240千円	委託料 363,687千円 工事請負費 689,220千円	委託料 336,644千円 工事請負費 689,220千円	平成17年度をもって緊急対策工事は終了	
	人件費(B)			千円	18,137.3	26,368.3	4.4	0
トータルコスト(A)+(B)			千円		947,495.3	1,079,389.3	1,025,936.4	0

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位施策「環境に配慮した適正なごみ処理の推進」のために、最終処分場緊急対策事業を実施しており、結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☒ 達成している		平成17年度で緊急対策工事が終了したため。				
			☐ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある						
☐ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい							
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☐ 上記以外の方法						
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	3969	事務事業名称	最終処分場緊急対策事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成17年度で緊急対策工事が完了したため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☒ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成17年度で緊急対策工事が完了したため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・ 早急の対応を求められている。									

所属長コメント	緊急対策工事が，平成17年度に完了しているので，今後は最終処分場の維持管理の中で管理していく。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			・ 平成17年度で緊急対策工事が完了したことにより，廃止済み。今後は，維持管理事業として推進すべき。 ・ 廃止済み事業。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☒ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									